

熊本都市計画道路の変更（益城町決定）

熊本都市計画道路3.5.96号横町線、3.5.97号益城東西線、3.5.98号南北線、3.5.99号第二南北線を追加し、3.4.24号福富木山線を廃止する。

種別	名称		位置			区域	構造				備考
	番号	路線名	起点	終点	主な経過地	延長	構造形式	車線数	幅員	地表式の区間における鉄道等との交差の構造	
幹線街路	3.5.96	横町線	益城町大字木山字居屋敷	益城町大字木山字前田	益城町大字木山字居屋敷	約650m	地表式	2車線	14.0m	幹線街路と平面交差1ヶ所	
	3.5.97	益城東西線	益城町大字馬水字大辻	益城町大字寺迫字登立	益城町大字安永字宗曾利	約2,320m	地表式	2車線	14.0m	幹線街路と平面交差4ヶ所	
	3.5.98	南北線	益城町大字安永字居屋敷	益城町大字安永字上露込	益城町大字安永字宗曾利	約1,490m	地表式	2車線	12.0m	幹線街路と平面交差3ヶ所	
	3.5.99	第二南北線	益城町大字馬水字駿河原	益城町大字馬水字外豊	益城町大字馬水字居屋敷	約810m	地表式	2車線	12.0m	幹線街路と平面交差3ヶ所	
	3.4.24	福富木山線	-	-	-	-	-	-	-	-	

「位置、区域及び構造は計画図面表示のとおり」

都市計画を変更しようとする理由

●3.5.96号横町線、3.5.97号益城東西線、3.5.98号南北線、3.5.99号第二南北線の追加

益城町の市街地は、熊本高森線を単一軸として無秩序に拡大した結果、狭隘な道路や旗竿敷地により構成された密集市街地を呈しており、市街地内の交通渋滞対策や歩行者・自転車の安全な通行空間の確保がまちづくりの喫緊の課題となっていた。

併せて、熊本地震では、町の中心軸である県道熊本高森線をはじめ、市街地内の多くの箇所において、倒壊した家屋等により道路が塞がれ、通行機能を喪失し、避難や救急、復旧活動の大きな支障となった。

地震により甚大な被害を受けた益城町では、「益城町復興計画」を策定し、災害に強いまちづくりを推進するため、災害時にも機能を発揮する幹線道路ネットワークを構築することとしている。

今回、都市計画決定を行う横町線、益城東西線、南北線、第二南北線は、町が復興計画において位置付けている、災害に強い幹線道路ネットワークを構成する道路であり、都市内の円滑な交通や歩行者及び自転車の安全な通行空間の確保など、都市の活動を支える重要な都市施設と成り得ることから、都市計画決定するものである。

●3.4.24号福富木山線の廃止

福富木山線は、昭和49年に広崎木山線として、他の都市計画道路と連携し、熊本都市圏から東部地域の益城町、西原村方面を連絡する道路として、将来予想される自動車交通量の増大に対処すると共に、地域開発に寄与する道路として都市計画決定された。

平成28年に熊本高森線が益城中央線として4車線で都市計画決定されたことにより、将来交通量に対応する主要幹線道路としての機能が代替されたことから、熊本高森線の重複する区間（広崎～福富）を廃止し、名称を福富木山線と変更した。

今回の都市計画決定により、地域開発に寄与する幹線道路網が形成され、地域開発道路としての機能が代替されることから、全線を廃止するものである。